

エコアクション21

環境活動レポート

2023年度

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



2024年5月10日 発行

株式会社 ハセガワ

1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

会社名：株式会社 ハセガワ
代表者名：代表取締役 笠川修造

(2) 所在地

本社：〒275-0011 千葉県習志野市大久保1-6-2
第一工場：〒276-0047 千葉県八千代市吉橋21-1
第二工場：〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田710
千葉支店：〒262-0043 千葉県千葉市花見川区天戸町649-9

(3) 法人設立年月日

昭和52年1月1日

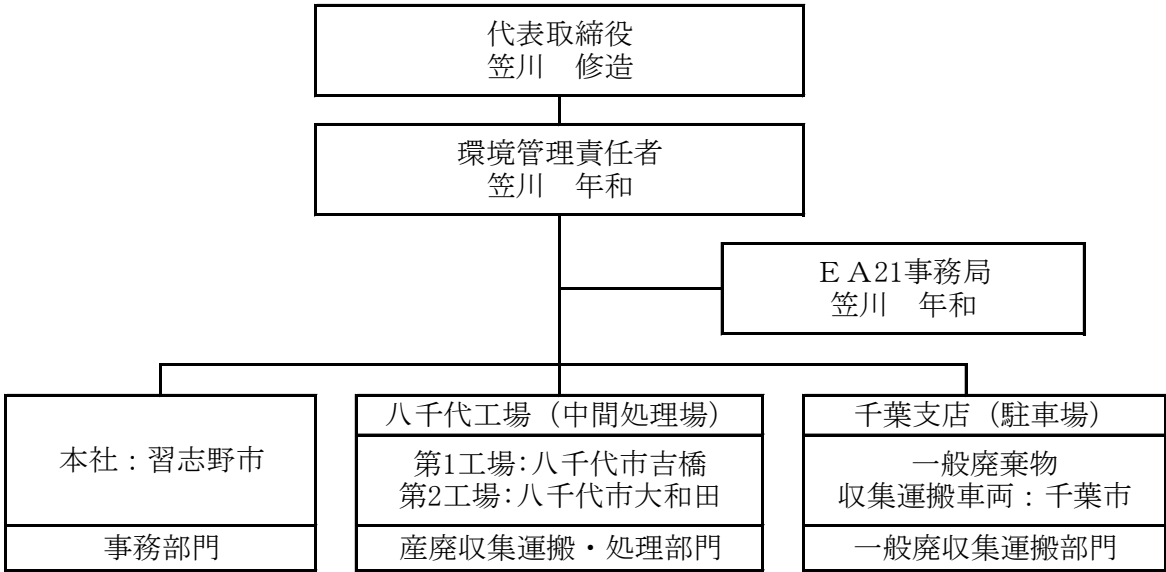
(4) 資本金

1, 0 0 0 万円

(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： 笠川 年和
担当者連絡先：事務部門担当者
(電話)04-7129-3008 (FAX)04-7129-3383

(6) 組織図



(7) 役割・責任・権限

担当	役割 ・ 責任 ・ 権限
社長	・環境経営方針の決定 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・マネジメントレビューの実施 ・環境管理責任者の任命 ・必要な経営資源の投入
EA21事務局	・EA21の活動状況まとめ ・教育・訓練、緊急事態対応テストの連絡等
環境管理責任者	・環境経営システムの確立・実施・維持 ・社長見直し時にEA21活動状況報告
各部門	・環境経営計画の実施 ・月別部門データの集計 ・問題点の把握と是正の実施

(8) 事業の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業（特別管理産業廃棄物を含む）
（上記事業については、積替保管施設はありません）
- ・産業廃棄物処分業（中間処理）
- ・一般廃棄物収集運搬業（八千代市、習志野市）
- ・再生資源回収業（八千代市、習志野市）
- ・その他 一般貨物自動車運搬事業、ビルメンテナンス業、グリストラップ、ビルピット、油水分離層等の清掃業務、とび土木工事業、解体工事全般、リサイクル原料取り扱い、機密書類処理

(9) 事業の規模

	(2021年4月 ～2022年3月)	(2022年4月 ～2023年3月)	(2023年4月 ～2024年3月)
項 目	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)	1,389.9	1,412.8	1,437.8
従業員(人)	80	80	80
本社床面積(㎡)	66.7	66.7	66.7
八千代第1工場敷地面積(㎡)	2,492.3	2,492.3	2,492.3
八千代第2工場敷地面積(㎡)	6,255.1	6,255.1	6,255.1
千葉支店敷地面積(㎡)	1,017.8	1,017.8	1,017.8

(10) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2021年度	2022年度	2023年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	865,540	922,990	827,506
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	9,205	10,695	9,416
	中間処理量	t	12,652	13,575	14,361
③自社廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.2	0.2	0.2
	産業廃棄物	t	0.0	0.0	0.0
④ー1 総排水量	下水道	m ³	389	363	389
	公共用水域	m ³	1,453	896	894
④ー2 水使用量	上水	m ³	389	363	389
	地下水	m ³	1,453	896	894
⑤化学物質使用量	なし	kg	0	0	0
⑥エネルギー使用量	購入電力	kWh	159,002	151,943	154,517
	軽油	ℓ	289,845	312,569	280,336
	ガソリン	ℓ	5,563	6,160	5,117
	灯油	ℓ	1,209	1,478	1,537
	都市ガス	m ³	1,310	1,156	1,040
⑦物質使用量	資源使用量（用紙）	kg	78.0	79.0	79.0
	循環資源使用量	t	0	0	0

注）CO₂の排出係数は、2023年12月に環境省が公表した「電気事業者別の調整後排出係数」を使用しています。（単位：kg-CO₂/kWh）

日本テクノ（株）： 0.484
東京電力エナジーパートナー（株）： 0.451

※電力使用量のサイト毎の内訳は以下の通りです。

サイト別電力使用量

単位：(kWh)

サ イ ト	電力会社	2021年度	2022年度	2023年度
本 社	東京電力エナジーパートナー(株)	8,762	8,516	8,312
千葉支店	東京電力エナジーパートナー(株)	7,797	7,819	8,074
第1工場	東京電力エナジーパートナー(株)	10,442	10,341	11,820
第2工場	(株)エナリス・パワーマーケティング 日本テクノ(株)	132,001	125,267	※ 126,311
合 計		159,002	151,943	154,517

※日本テクノ(株)に変更

(11) 許認可一覧

＜産業廃棄物処理業の許可の内容＞

*優良産廃処理業者認定を取得済

産業廃棄物収集運搬業				許可品目(●)																
No.	都道府県 ・政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	燃え が ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラ 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	陶 磁 器 く ず	ガラス・ コンクリート・ 陶磁器くず	が れ き 類	ば い じ ん	
1	千葉県	01200032268	2015年7月25日 2025年7月24日	●	●※1	●	●	●	●※2	●	●	●	●	●	●※3	●	●※4	●	●※5	●
2	東京都	1300032268	2021年9月27日 2026年9月26日	●	●	●	●	●	●※1※5	●	●	●	●		●※1※5	●	●※1※5	●	●※5	
3	神奈川県	01403032268	2019年11月7日 2024年9月15日	●		●	●	●	●※1※5	●	●	●	●	●	●※1	●	●※1※5	●	●※5	
* 4	埼玉県	01101032268	2023年7月21日 2030年6月8日	●	●※5	●	●	●	●※5	●	●	●	●		●※9	●	●※5	●	●※9	
* 5	茨城県	00801032268	2023年7月6日 2030年6月1日		●※10	●※7	●※6	●※6	●※4	●	●	●	●		●※3	●	●※4	●	●※9	
6	栃木県	00900032268	2020年3月28日 2025年3月27日	●	●※1	●	●	●	●※1※5	●	●	●	●		●※1	●	●※1※5	●	●※5	
7	群馬県	01000032268	2021年8月12日 2026年8月11日	●	●	●	●	●	●※5	●	●	●	●		●	●	●※5	●	●※5	

※1 水銀使用製品産業廃棄物を含む ※2 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み自動車等破砕物を除く

※3 水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く

※4 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み自動車等破砕物を除く

※5 石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む ※6 水銀使用製品産業廃棄物を含み水銀含有ばいじん等を除く

※7 水銀使用製品産業廃棄物を除く ※8 水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く

※9 石綿産業廃棄物を含む ※10 石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含み水銀含有ばいじん等を除く

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目			
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 石綿等
*8	千葉県	01250032268	2022年12月23日 2029年12月16日	●	●※1	●※2	●※3
9	東京都	1357032268	2015年12月26日 2025年12月25日	●	●※4	●※5	●※6

※1 揮発油類、灯油類、及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。

※2 水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。

※3 水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。

※4 揮発油類、灯油類、及び軽油類。

※5 水素イオン濃度指数2.0以下のもの。

※6 水素イオン濃度指数12.5以上のもの。

産業廃棄物処分業(中間処分)				許可品目								
No.	都道府県 ・政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	産業廃棄物の種類	廃 プラ 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	金 属 く ず	磁 器 く ず	ガラス・コン クリート・陶	が れ き 類
* 10	千葉県 ※3	01220032268	2023年11月22日 2030年08月31日	破碎によるもの	● ※	●	●	●	● ※	● ※1	●	
				圧縮によるもの	● ※	●	●	●	● ※	● ※2		
				圧縮固化によるもの	● ※	●	●	●				

※1 自動車等破砕物を除く。 ※2 廃プラスチック類の付着物に限る。

※3 千葉県産業廃棄物処分業許可証については「優良認定」を取得しています。

<一般廃棄物収集運搬業の許可の内容>

No.	市町村名	許可番号	取扱廃棄物 の種類	収集運搬 区域	処理 区分	許可年月日 及び有効期限
1	八千代市	第9号	一般廃棄物(ごみ)	八千代市 全域	収集・ 運搬	2024年4月1日 2026年3月31日
2	習志野市	習志野市 第01-012号	ごみに限る	習志野市 全域	収集・ 運搬	2024年4月1日 2026年3月31日

(12) 一般廃棄物、産業廃棄物施設の状況

①車両

車両形式	最大積載量 (トン)	保有台数 (台)
塵芥車	1.6～2.7	11
脱着装置付コンテナ車	2.0～10.1	16
キャブオーバ	1.75～3.5	10
ダンプ車	2.0～11.1	3
清掃車	1.68～3.0	2
バン	2.0～3.3	2
合 計		44

注1) 積替保管施設はありません。

注2) 清掃車を除く車両に関しては、一般廃棄物と産業廃棄物の両方に
使用しており、それぞれに専用化してはおりません。

②処理施設の種類

項目	第一工場	第二工場
事業の区分	破碎・圧縮による中間処理	破碎・圧縮による中間処理及び 圧縮固化による中間処理
施設の種類	一軸破碎機 1基 二軸破碎機 1基 圧縮施設 1基	ガラスがれき破碎施設 1基 一軸破碎機 1基 二軸破碎機 1基 石こうボード破碎施設 1基 圧縮施設 1基 圧縮固化施設 1基

③処理する産業廃棄物の種類

巻末の産業廃棄物中間処理施設一覧表を参照ください。

④処理能力

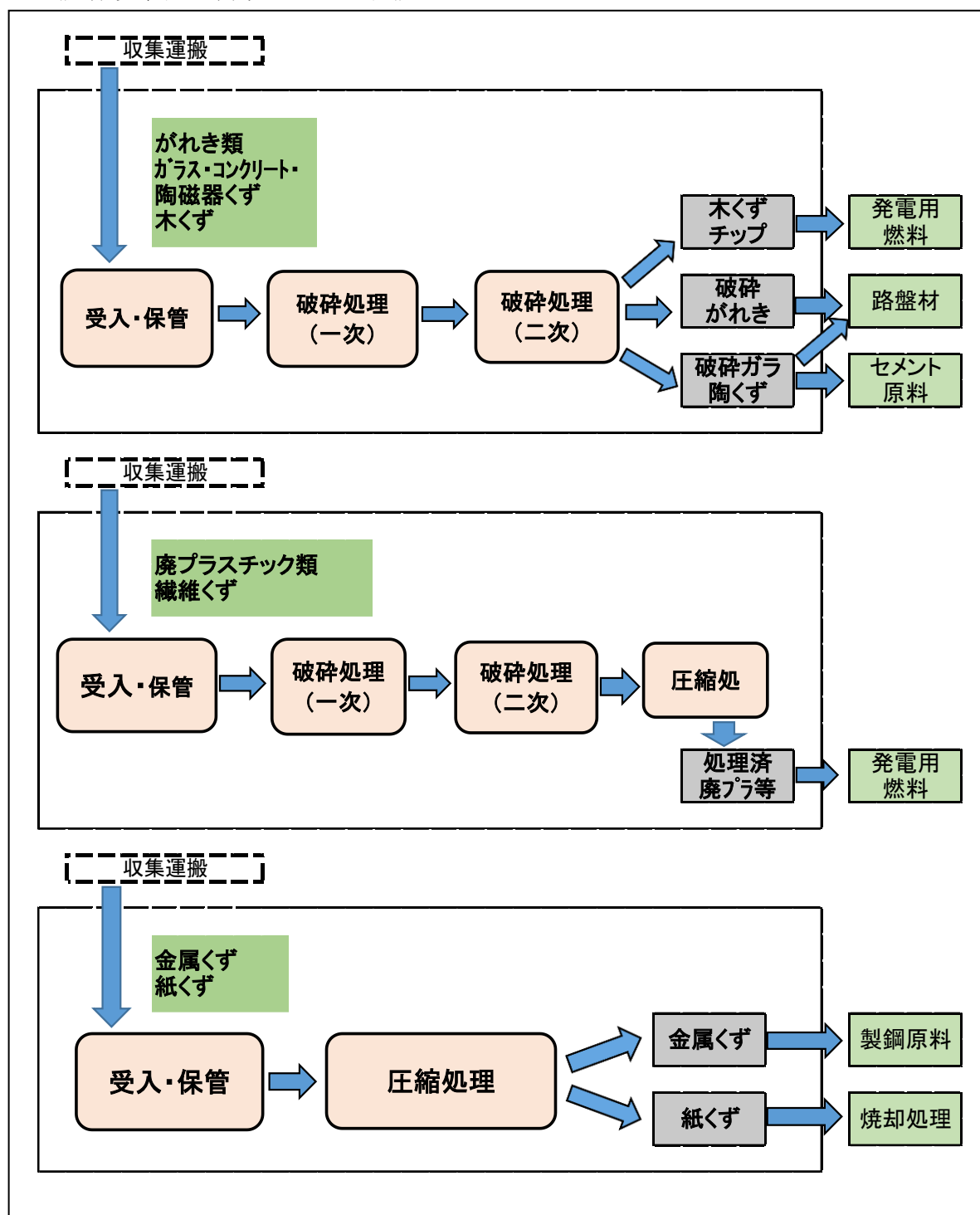
巻末の産業廃棄物中間処理施設一覧表を参照ください。

⑤処理方式

巻末の産業廃棄物中間処理施設一覧表を参照ください。

(13) 中間処理工程図

《産業廃棄物の中間処理フロー図》



※ 中間処理後の残渣は管理型最終処分処理されます。

(14) 環境保全措置

- ・ 分別収集運搬を心掛け、作業を迅速に行うとともに搬送時は必ずシート掛けをして飛散防止対策を行う。
- ・ ドラム缶などは必要に応じてロープなどで固定して搬送する。
- ・ 車両や容器などは清潔な状態であるように努める。
- ・ 収集運搬の緊急時に備えて、従業員に教育活動を行う。
- ・ エコアクション21認証を維持する。

(15) 産業廃棄物の収集運搬量実績

単位: (トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
燃えがら	0.0	3.0	0.0
汚泥	672.3	1,052.4	478.7
廃油	20.1	32.3	34.8
廃酸	5.0	7.2	10.2
廃アルカリ	1.7	10.8	0.7
廃プラスチック類	2,193.3	2,377.1	2,117.4
紙くず	389.8	625.9	463.1
木くず	739.0	798.9	1,088.2
繊維くず	2.5	4.8	1.7
動植物性残さ	693.3	556.5	589.4
金属くず	1,722.9	2,186.4	1,754.7
ガラス・コンクリート・陶器くず	851.1	860.6	614.5
がれき類	1,855.9	2,105.3	2,218.2
石綿含有産業廃棄物	41.6	51.5	25.2
水銀使用製品産業廃棄物	0.5	0.7	0.5
特管廃油	15.9	21.2	18.8
合 計	9,204.6	10,694.6	9,416.0

(16) 産業廃棄物の中間処理量実績

単位: (トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
がれき類	3,067.1	3,110.8	3,470.4
ガラス・コンクリート・陶器くず	1,820.0	2,087.2	1,978.2
廃プラスチック類	3,315.3	2,981.1	3,307.2
繊維くず	42.1	75.6	55.5
木くず	1,671.3	1,885.7	2,542.8
金属くず	2,065.5	2,380.7	2,035.0
紙くず	670.4	1,054.1	971.7
合 計	12,651.7	13,575.0	14,360.8

(17) 一般廃棄物（再生資源物含む）の収集運搬量実績

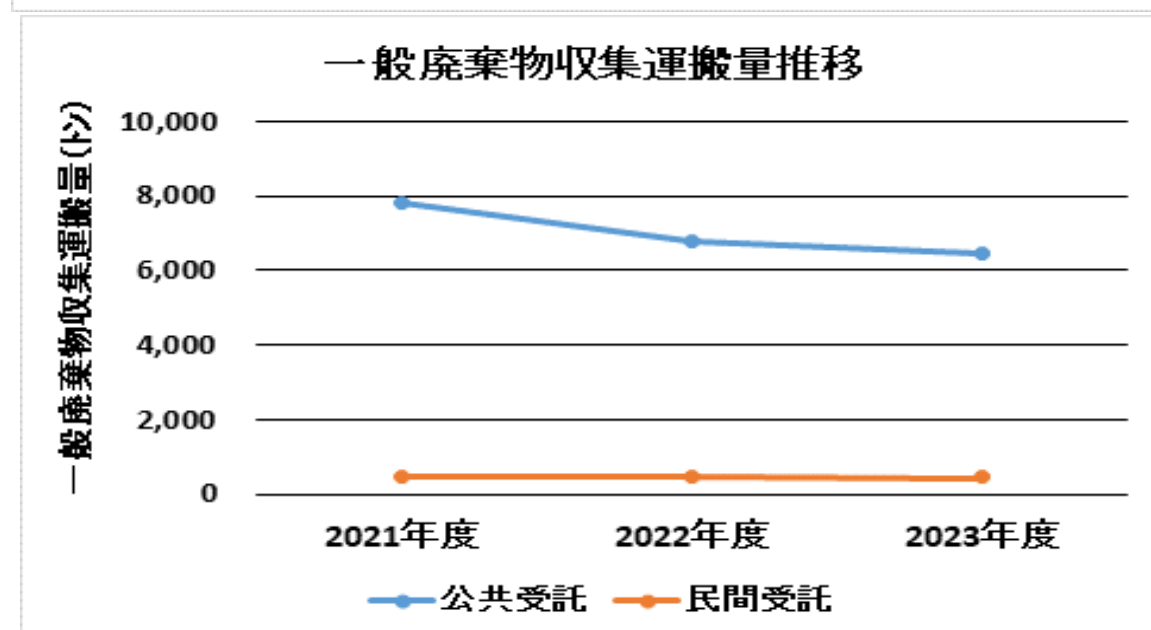
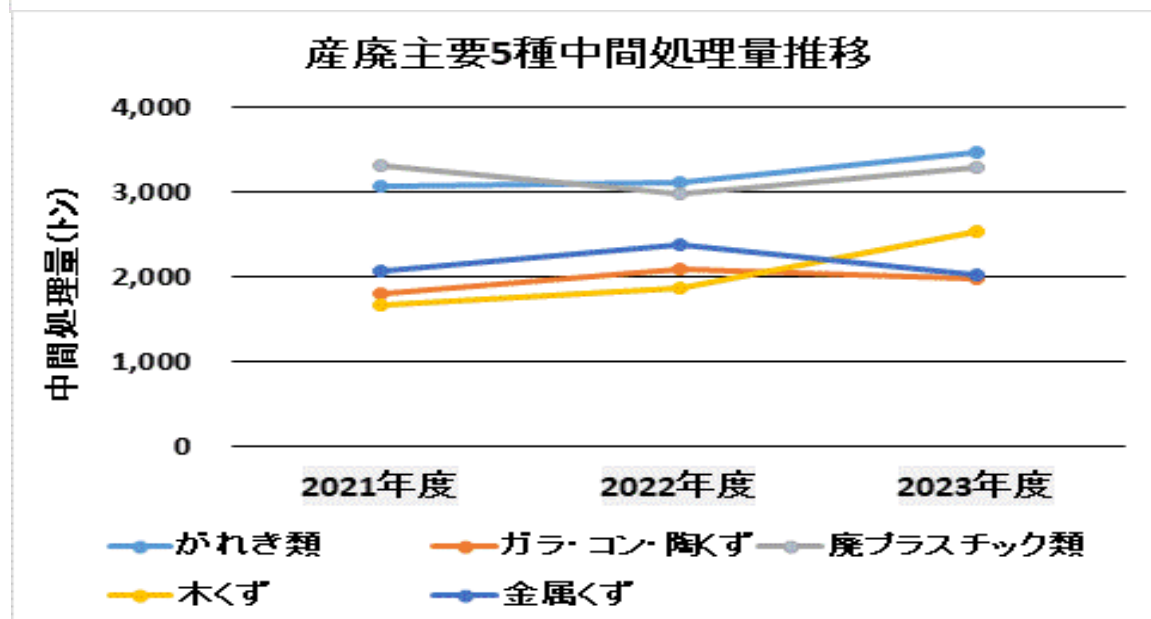
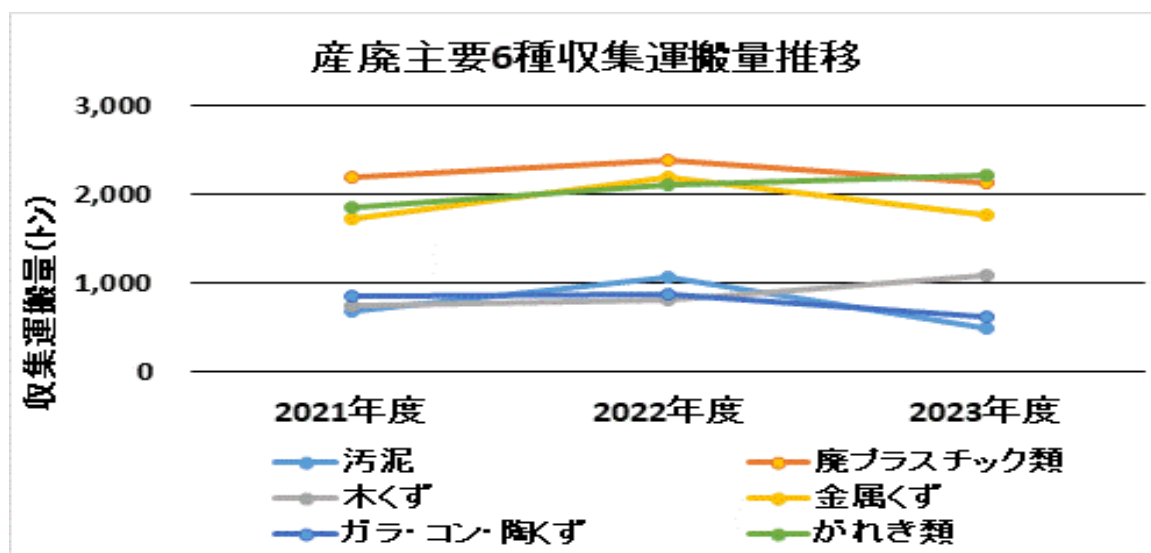
単位: (トン)

種 類	2021年度	2022年度	2023年度
公共（市）からの受託	6,861.3	6,784.8	6,483.5
民間（家庭、企業）からの受託	480.0	456.1	444.3
合 計	7,341.3	7,240.9	6,927.8

(18) 一般廃棄物のうちの再生資源物の回収量実績

単位: (トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
紙類	597.9	586.8	678.3
段ボール	822.6	807.7	580.2
ビン・缶類	532.93	546.13	529.07
ペットボトル	222.9	225.1	232.3
布類	22.4	18.7	20.0
合 計	2,198.7	2,184.5	2,039.8



2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所： 本社、第1・第2工場、千葉支店（駐車場）

対象事業活動：産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物処分業（中間処理）、
一般廃棄物収集運搬業（再生資源回収業を含む）

認証登録番号：0011346

認証登録日：2016年7月8日

環境活動レポート発行日 2024年5月10日

レポート対象期間：2023年4月～2024年3月

3. 環境経営方針

株式会社 ハセガワ

環 境 経 営 方 針

《 基 本 理 念 》

株式会社ハセガワは、廃棄物の収集運搬・処理業務を行う企業として、顧客が安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理、分別によるリサイクル事業に取り組みます。またさらに地球温暖化や資源保護の問題を人類共通の重要課題と認識し、環境保全活動に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

《 行 動 指 針 》

1. 具体的に次の項目に、取り組みます。

- ① 収集運搬車両、重機・処理施設等の使用による燃料を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 電力使用量の削減を図り、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ③ 廃プラ等の再生資源の受入量拡大をはかり、リサイクル事業を推進します。
- ④ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。
- ⑤ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境方針及び環境活動を全従業員へ周知し、環境活動を推進します。
また、活動内容は「環境活動レポート」にまとめ、広く公開します。

2015年11月1日 制定

2021年4月1日 改訂③

株式会社 ハセガワ

代表取締役 笠川修造

4. 環境目標

2020年度～2022年度のデータを基に2023年度から3ヶ年分の中期計画の環境目標を設定しました。

2023～2025年度 環境目標

No.	環境目標項目	* 基準値 2020年～2022年 平均実績値	2023年度目標 (2023年4月～ 2024年3月)	2024年度目標 (2024年4月～ 2025年3月)	2025年度目標 (2025年4月～ 2026年3月)
1	二酸化炭素排出量の削減(軽油による運搬量原単位での削減)	58.6 kg-CO ₂ /t	1% 削減 (58.0 kg-CO ₂ /t)	2% 削減 (57.4 kg-CO ₂ /t)	3% 削減 (56.8 kg-CO ₂ /t)
2	電気使用量の削減	15,764 kWh/月	1% 削減 (15,607 kWh/月)	2% 削減 (15,449 kWh/月)	3% 削減 (15,291kWh/月)
3	産廃の再資源化量を拡大する	713 t/月	1% 拡大 (720 t/月)	2% 拡大 (728 t/月)	3% 拡大 (735 t/月)
4	水使用量の削減(第2工場)	180 m ³ /月	2% 削減 (178 m ³ /月)	2% 削減 (177 m ³ /月)	3% 削減 (175 m ³ /月)
5	自社からの廃棄物排出量削減	2022年度実績 (0.2トン/年)	現状維持	現状維持	現状維持

* 基準値：2020年～2022年の各テーマのデータ平均値に、ばらつきを考慮して2σ（標準偏差）分を加減した数値を基準値とした。

5. 環境活動計画（主な施策）

- 軽油使用量の削減
 - ・エコドライブの推進
 - ・配車の最適化
 - ・アイドリングストップの励行
- 電気使用量の削減
 - ・空調の適正温度管理
 - ・節電教育の実施
- 産廃の再資源化量を拡大する
 - ・分別手順の作成と教育実施
 - ・新規顧客の獲得
- 水使用量の削減
 - ・節水教育実施と周知徹底
 - ・設備の保守点検実施による漏水防止
- 自社からの廃棄物排出量削減
 - ・失敗コピーの削減
 - ・コピー用紙の裏紙再利用

6. 環境目標の実績

No.	環境目標項目	* 基準値 2020年～2022年 平均実績値	2023年度目標 (2021年4月～ 2022年3月)	2023年度 目標比	評価
1	二酸化炭素排出量の削減(軽油による運搬量原単位の削減)	58.6 kg-CO ₂ /t	1% 削減 (58.0 kg-CO ₂ /t)	22.8% 削減 (44.8 kg-CO ₂ /t)	◎
2	電気使用量の削減	15,764 kWh/月	1% 削減 (15,607 kWh/月)	17.5% 削減 (12,876 kWh/月)	◎
3	産廃の再資源化量を拡大する	713 t/月	1% 拡大 (720 t/月)	66.2% 拡大 (1,197 t/月)	◎
4	水使用量の削減(第2工場)	180 m ³ /月	2% 削減 (178 m ³ /月)	41.9% 削減 (75 m ³ /月)	◎
5	自社からの廃棄物排出量削減	2022年度実績 (0.2 トン/年)	現状維持	現状維持	○

※評価の目安：◎（目標±10%以上達成） ○（目標達成） ×（目標未達） ××（目標±10%以上未達成）

【評価】

1 二酸化炭素排出量の削減

2023年度の目標値は前3ヵ年（2020年度～2022年度）データをもとに算出しました。実力以上の高い目標値は活動に影響が出ると思い目標値を慎重に決定しましたが、想定していた以上に順調な活動となり、2023年度原単位は44.8 kg-CO₂/tの目標比22.8%削減で、問題なく目標を達成しました。

2 電気使用量の削減

電気使用量の削減テーマは残暑が厳しい9月度の単月で目標未達が出ましたが、その他の月は単月、累積目標共に目標の未達はありませんでした。結果、目標比17.5削減の12,876kwh/月で目標を達成することができました。次年度も継続します。

3 産廃の再資源化量の拡大（中間処理量の拡大）

今年度は年間を通して、安定した処理量を確保できた年となりました。目標比66.2%拡大の1,197 t/月で目標を達成し、想定以上の成果を上げ、活動を終えました。油断することなく、さらなる拡大を目指して、次年度も推進します。

4 水使用量の削減

今年度は夏場の7月に単月で目標未達となりましたが、その他の月は単月、累積目標共に目標の未達はありません。目標比41.9%削減の75m³/月で目標を達成しました。夏場に使用量が増加傾向となっていますので、次年度は夏場の傾向を皆に周知の上、引き続き注意深く推進します。

5 自社からの廃棄物排出量削減

裏紙を再利用したり、両面印刷の機能を積極的に活用し、自社からの紙ごみの排出量抑制に努めています。活動は定着しており、問題なく目標は達成しています。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営活動計画の内容	環境経営活動計画（施策）	評価	次年度の取組内容
軽油使用量の削減	エコドライブの推進	4	継続して推進する
	配車の最適化	5	継続して推進する
	アイドリングストップの励行	4	継続して推進する
電気使用量の削減	空調の適正温度管理	4	継続して推進する
	節電教育の実施	5	継続して推進する
産廃の再資源化量を拡大する	分別手順の作成と教育実施	5	継続して推進する
	新規顧客の獲得	4	継続して推進する
自社排出の廃棄物の削減	失敗コピーの削減	5	継続して推進する
	裏紙の再利用を進める	5	継続して推進する
水の使用量削減	節水教育実施と周知徹底	4	継続して推進する
	設備の保守点検実施による漏水防止	5	継続して推進する

（評価点） 5点：大変良い 4点：良い 3点：要努力 2点：悪い 1点：非常に悪い
（評価点は総合的に判断した担当者による官能評価である）

8. 2024年度の環境目標

2024年度活動の環境目標は下表のとおりです。

No.	環境目標項目	* 基準値 2020年～2022年平均実績値	2024年度目標 (2024年4月～2025年3月)
1	二酸化炭素排出量の削減(軽油による運搬量原単位の削減)	58.6 kg-CO ₂ /t	2% 削減 (57.4 kg-CO ₂ /t)
2	電気使用量の削減	15,764 kWh/月	2% 削減 (15,449 kWh/月)
3	産廃の再資源化量を拡大する	713 t/月	2% 拡大 (728 t/月)
4	水使用量の削減（第2工場）	180 m ³ /月	2% 削減 (177 m ³ /月)
5	自社からの廃棄物排出量削減	2022年度実績(0.2トン/年)	現状維持

* 基準値：2020年～2022年の各テーマのデータ平均値に、ばらつきを考慮して2s（標準偏差）分を加減した数値を基準値とした。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2024年3月に遵守状況を確認しましたが、問題はありませんでした。

主な環境法令は次の通りです。

- ・廃棄物処理及び清掃に関する法律 ・千葉県廃棄物の処理の適正化に関する条例
- ・消防法 ・貨物自動車運送事業法 ・道路運送車両法 ・道路交通法
- ・労働安全衛生法 ・オフロード法 ・フロン排出抑制法 等

また、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

なお、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の変更はありません。

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

新3ヵ年計画のスタート年度であった今年度は過去3年間のデータを基に慎重に且つ合理的に目標値を決定しましたので、今年度のすべてのテーマ活動はほぼ順調に推移し、目標を達成して活動を終えることができました。今年度の活動を次年度へ継続し、取りこぼしのないように各テーマを推進して行きます。

なお、今年度の活動において下記項目の見直し、指示はありません。

- ・環境経営方針
- ・環境経営目標及び環境経営計画
- ・実施体制

別紙

株式会社ハセガワ 産業廃棄物中間処理施設一覧

2016年12月20日現在

設置場所	設置年月日	施設の種類		産業廃棄物の種類	処理能力 又は保管量	処理方式	保管及び環境保全設備の概要	数量	産業廃棄物処理施設許可	
									許可番号	許可年月日
八千代市吉橋 宇津金ト21番 1、21番2、22 番及び23番	平成18年6月2日	破碎施設		廃プラスチック類	4.5t/日(8時間)	一軸 破碎機	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・周囲に囲いを設け、床面をコンクリート構造とし、油水分離槽を設けている。 ・悪臭発散の場合は防臭剤の散布処置を講ずる。	1	第17-20-1-87号	平成18年3月10日
	平成18年6月2日	破碎施設		廃プラスチック類 木くず 紙くず 繊維くず	3.99t/日(8時間) 4.77t/日(8時間) 2.87t/日(8時間) 1.24t/日(8時間)	二軸 破碎機	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・周囲に囲いを設け、床面をコンクリート構造とし、油水分離槽を設けている。 ・悪臭発散の場合は防臭剤の散布処置を講ずる。	1	第20-20-1-88号	平成18年3月10日
	平成18年6月2日	圧縮施設		廃プラスチック類 金属くず ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	9.25t/日(8時間) 21.6t/日(8時間) 61.7t/日(8時間)	油圧式 プレス機	・周囲に囲いを設け、床面をコンクリート構造とし、油水分離槽を設けている。 ・悪臭発散の場合は防臭剤の散布処置を講ずる。	1	—	—
	—	保管 施設	搬入廃棄物保管施設	—	41m ² 60m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (焼却系残渣)	—	10m ² 21m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (埋立系残渣)	—	82m ² 120m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (焼却系木くず)	木くず	6.8m ² 8.2m ³	—	コンテナ保管	2	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (ガラ、残渣)	—	6.8m ² 8.2m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (燃料系廃プラスチック類)	廃プラスチック類	6.8m ² 8.2m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		処理後の廃棄物保管施設 (金属くず)	金属くず	6.8m ² 8.2m ³	—	コンテナ保管	1	—	—
八千代市大和 田新田707番 2、707番7及び 707番8	平成20年11月19日	破碎施設		ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず がれき類	7.50t/日(8時間) 9.50t/日(8時間)	ジョー クラッ シャー式	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。作業に係る重機等は低速度で走行する。	1	第20-1-334号	平成20年7月24日
	平成20年11月19日	破碎施設		紙くず 木くず 繊維くず 金属くず ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	7.04t/日(8時間) 12.96t/日(8時間) 2.80t/日(8時間) 26.56t/日(8時間) 23.52t/日(8時間)	二軸 破碎機	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。作業に係る重機等は低速度で走行する。	1	第20-1-335号	平成20年7月24日

設置場所	設置年月日	施設の種類の	産業廃棄物の種類の	処理能力 又は保管量	処理方式	保管及び環境保全設備の概要	数量	産業廃棄物処理施設許可		
								許可番号	許可年月日	
八千代市大和田新田707番2、707番7及び707番8	平成20年11月19日	破碎施設	廃プラスチック類	4.76t/日(8時間)	一軸 破碎機	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。作業に係る重機等は低速度で走行する。	1	第20-20-1-118号	平成20年7月24日	
			紙くず	3.40t/日(8時間)						
			木くず	4.16t/日(8時間)						
			繊維くず	1.09t/日(8時間)						
	平成20年11月19日	廃石膏ボードの破碎施設	廃石膏ボード	3.08t/日(8時間)	カッター 刃付ハンマー方式	・粉じん防止のための散水設備があり、必要に応じて散水する。 ・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。	1	—	—	
	平成20年11月19日	圧縮施設	廃プラスチック類	73.08t/日(8時間)	油圧式 プレス機	・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。作業に係る重機等は低速度で走行する。	1	—	—	
			紙くず	62.64t/日(8時間)						
			木くず	114.84t/日(8時間)						
			繊維くず	25.05t/日(8時間)						
			金属くず	235.94t/日(8時間)						
			ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	208.80t/日(8時間)						
	平成20年11月19日	圧縮固化施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くずの混合物	4.00t/日(8時間)	円盤型 ダイス水平押出し式	・騒音・振動については建屋内に破碎機を設置する。作業に係る重機等は低速度で走行する。	1	—	—	
	—	処理 前 の 保 管 施 設	混合物(廃プラスチック類、金属くず)の保管施設	廃プラスチック類、金属くず	6.8㎡ 8.2㎡	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		廃プラスチック類の保管施設	廃プラスチック類	6.8㎡ 8.2㎡	—	コンテナ保管	1	—	—
	—		紙くずの保管施設	紙くず	6.8㎡ 8.2㎡	—	コンテナ保管	2	—	—
—	混合物(廃プラスチック類、紙くず)の保管施設		廃プラスチック類、紙くず	6.8㎡ 12㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	木くずの保管施設		木くず	14㎡ 25㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	金属くずの保管施設		金属くず	6.8㎡ 12㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	廃プラスチック類の保管施設		廃プラスチック類	6.8㎡ 12㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	混合物(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず)の保管施設		廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	10㎡ 21㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	混合物(廃プラスチック類、木くず、がれき類)の保管施設		廃プラスチック類、木くず、がれき類	11㎡ 24㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	混合物(廃プラスチック類、紙くず、木くず)の保管施設		廃プラスチック類、紙くず、木くず	20㎡ 48㎡	—	コンテナ保管	1	—	—	
—	混合物(廃プラスチック類、紙くず、木くず)の保管施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず	58㎡ 108㎡	—	コンテナ保管	1	—	—		

設置場所	設置年月日	施設の種類の種類		産業廃棄物の種類	処理能力 又は保管量	処理方式	保管及び環境保全設備の概要	数量	産業廃棄物処理施設許可	
									許可番号	許可年月日
八千代市大和田新田707番2、707番7及び707番8	—	処理後物の保管施設	がれき類の保管施設	がれき類	73m ² 110m ²	—	—	1	—	—
	—		圧縮後物(紙くず)の保管施設	紙くず	32m ² 98m ²	—	—	1	—	—
	—		圧縮後物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	32m ² 98m ²	—	—	1	—	—
	—		圧縮後物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	26m ² 79m ²	—	—	1	—	—
	—		圧縮後物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	33m ² 67m ²	—	—	1	—	—
	—		混合残渣物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	15m ² 38m ²	—	—	1	—	—
	—		混合残渣物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	15m ² 38m ²	—	—	1	—	—
	—		混合残渣物(廃プラほか)の保管施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	33m ² 73m ²	—	—	1	—	—
	—		石膏ボード粉の保管施設	石膏	1.0m ² 1.0m ²	—	—	1	—	—